

青森支部保険者機能強化予算について

1. 支部保険者機能強化予算の検討にあたって

本部方針

- 支部保険者機能強化予算については、支部職員だけで検討するのではなく、事業主や加入者の意見を反映させた事業とするため、評議会においても意見やアイデアを伺うなど、これまで以上に活発な議論をしていただき、費用対効果も踏まえながら、検討を進める。
- 例年、評議会を開催している10月にその内容について説明の上、議論していただくほか、7月～9月の評議会において意見聴取（フリートーク）を行うこと。

2. 令和元年度青森支部事業計画の実施状況について

令和2年5月評議会意見

- 返納金債権の回収率について、評価・分析が必要。
- 損害賠償金債権について、請求方法を見直す必要があるのではないか。
- 柔道整復施術療養費等の照会業務について、無回答者の対応は。
- 特定保健指導実績減の要因は。
- 被扶養者の特定健診受診率が低い。市町村の健診やがん検診と同時実施や自己負担額軽減等行ってはどうか。

3. 青森支部保険者機能強化予算について評議会意見

【令和元年7月 評議会意見】

- ショッピングセンターにおける「まちかど健診」について、会場ごとに来場者が多い曜日に着目して日程調整してみてはどうか。
- 加入者を対象とした理解度調査について、青森支部でも同様の調査を実施し、認知度を高めるために、マスコミを通じて、多くの人の目に触れる機会を増やすことが有効でないか。
- 新聞報道にナッジ理論を活用した「大腸がん検診の案内」を送った試みが紹介されていた。広報活動に活用できる可能性があるのではないか。
- 青森県が行っている「大腸がん検診モデル事業」と同様の取組や県と連携した形で検討してはどうか。

【令和元年10月 評議会意見】

- 青森県と日本生命で実施しているウォーキングアプリを活用した運動支援サービスを社内に取り入れたところ楽しんでやっている。同様のサービスを検討してみてはどうか。
- 特定保健指導を受けているが、毎年同じような話をされているので、もう少し中身を変えることを考えて欲しい。
- 紙媒体の広報について、文字が多い。ノウハウを持った業者と協力して、デザインを意識して、作成した方がよい。

【令和2年5月 評議会意見】

- 保健事業予算の残差理由について、何故使わなかったのか。
- 予算の執行状況が約50%。努力の結果、金額を抑えられたことは評価するが、予算政策時の見通しの詰めを更に行うべき。

4. ご意見いただきたい主な項目

- 健診、保健指導実施者拡大のために、どのような勧奨が効果的か。
- 医療費の適正化について、加入者の皆様に適正な医療のかかり方等を啓発するために、どのような取組が効果的か。
- 従業員の健康づくりに積極的に取り組んでいる健康宣言事業所等に対して、公的医療保険という観点も踏まえ、どのような働きかけが考えられるか。

令和2年度 青森支部医療費適正化等予算について

分野	区分	新規・継続	取組	令和2年度予算	前年度比較
医療費適正化 対策	企画部門 関係	新規	位置情報（ジオターゲティング広告）を利用したジェネリック医薬品使用促進に係る効果的広報 県内の保険医療機関で位置情報（ジオターゲティング広告）を利用し、ジェネリック医薬品使用促進に係る効果的広報を実施する。	1,760千円	1,760千円
		継続	「ジェネリック医薬品希望」意思表示付きお薬手帳カバーの作成業務 平成29年度に実施した県内約550のアドバイザー薬局に対し、ジェネリック医薬品希望の表示をしたお薬手帳を配布し、ジェネリック医薬品の切換えツールとして使用してもらい、カードの提示やシール貼るという作業を省いて、加入者がより簡単にジェネリック希望の意思表示ができるようにする。	4,390千円	▲884千円
		新規	ナッジ理論を活用した行動変容に結び付ける効果的な広報 外部講師を活用し支部内の広報関係者でナッジ理論を学び、広報物や勸奨文書の文面に反映させ、行動変容に結び付ける効果的な広報を実施する。	50千円	50千円
		継続	地元大学等と連携した医療費等の共同分析と広報	200千円	▲436千円
				合 計	6,399千円
広報、 意見発信	紙媒体による 広報	継続	定期的に全事業所宛に送付するチラシ等の印刷及び協会けんぽ紹介リーフレットの作成等に係る経費 毎月、日本年金機構から事業所へ送付する保険料納入告知書に同封するチラシ作成業務については、外部業者にデザイン業務を委託することにより、わかりやすい印刷物を作成し効果的な広報を実施する。	3,576千円	1,199千円
	その他の 広報	継続	新聞広告（地方紙）による協会けんぽ青森支部の広報	534千円	251千円
		新規	事業所に対する医療・医療保険制度等についての意識調査の実施 健康保険委員を委嘱している事業所に対して、医療・医療保険制度等について意識調査を実施する。調査結果を踏まえた広報手段等を検討のうえ、事業主及び加入者の皆様に認知していただきたい項目に注力した行動変容を促す広報を実施する。	1,400千円	1,400千円
			合 計	5,511千円	2,850千円
支部医療費適正化等予算 合計				11,910千円	2,899千円

令和2年度 青森支部保健事業予算について

分野	区分	新規・継続	取組名	令和2年度予算	前年度比較
健診関連経費	集団健診	継続	・ショッピングセンターにおける「まちかど健診」（特定健診）の実施 ・集合バス健診の実施	3,663千円	977千円
	事業者健診の結果データの取得	継続	・事業者健診データ取得勸奨業務	5,748千円	694千円
	健診推進経費	継続	・生活習慣病予防健診、事業者健診データ取得、特定健診に関して、健診実施機関の動機づけとなるよう実績に対して報奨金を支払う経費	6,981千円	▲356千円
	健診受診勸奨等経費	継続	・新規適用事業所宛ての生活習慣病予防健診チラシ作製 ・任意継続加入者への健診案内 ・郵送型血液検査サービスを利用した特定健診デビュー年齢対象者への受診勸奨案内 ・令和3年度健診案内に同封するチラシの作製 ・特定健診受診勸奨用のチラシ作製	4,835千円	▲6千円
				合計	21,227千円
保健指導関連経費	保健指導推進経費	継続	・特定保健指導実施機関の動機づけとなるよう実績に対して報奨金を支払う経費	1,070千円	0千円
	保健指導利用勸奨経費	継続	・特定保健指導を勸奨するための記録票等の作成	487千円	478千円
	その他の保健指導経費	継続	・中間評価時の血液検査費、保健指導データ等送料、保健指導事務用品費、等	4,928千円	469千円
				合計	6,485千円
重症化予防対策	未治療者受診勸奨	継続	・未治療者受診勸奨	220千円	4千円
	重症化予防事業	継続	・重症化予防対策	81千円	1千円
				合計	301千円
その他 (コラボヘルス等)	コラボヘルス事業	継続	・データヘルス計画の推進（コラボヘルス事業）	136千円	▲1,055千円
	その他の保健事業	継続	・データヘルス計画の実施（支部健康宣言事業の推進）	4,330千円	▲70千円
		継続	・8020 自分の歯を大切に！（歯科健診事業）	4,697千円	3,010千円
		継続	・関係団体との健康づくりイベント参加（ブース出展）	187千円	▲213千円
		新規	・メタボリックシンドロームの予防解消のための生活習慣改善提案兼高血圧・糖尿病に係る受診勸奨通知 〔特定保健指導対象者個人に対して、健診結果を基に生活習慣病のリスクを訴えかけることにより、生活習慣の改善、医療機関受診への行動変容を促す事業。〕	11,110千円	11,110千円
					合計
支部保健事業予算 合計				48,473千円	15,043千円

支部保険者機能強化予算の評議会との関係（標準的なプロセスの例）

